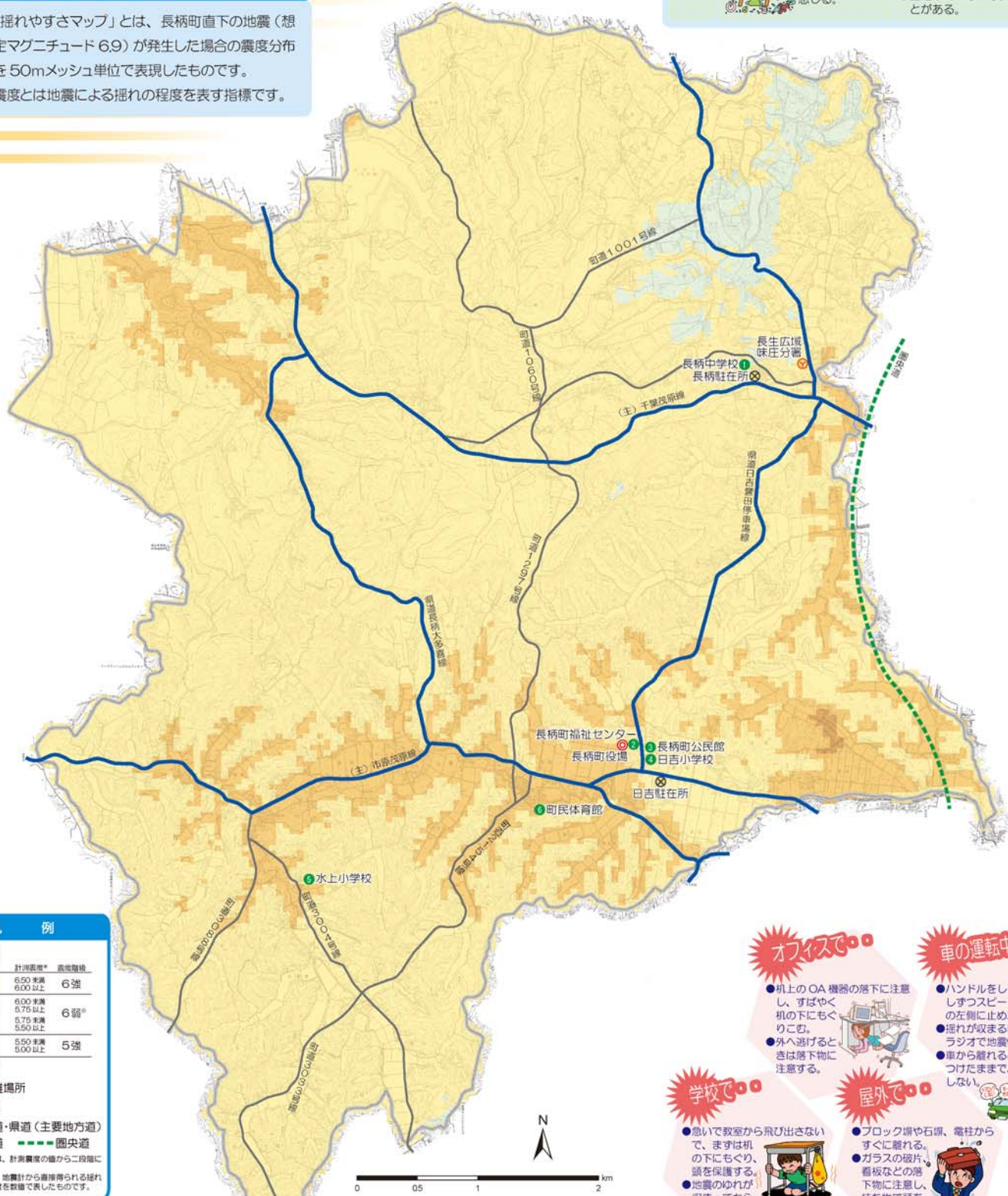


地震ハザードマップ

長柄町

揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」とは、長柄町直下の地震(想定マグニチュード6.9)が発生した場合の震度分布を50mメッシュ単位で表現したものです。震度とは地震による揺れの程度を表す指標です。



凡例	
震度階級	計測震度・震度階級
6強	6.50未満 6.00以上
6弱	6.00未満 5.75以上
5強	5.75未満 5.50以上
5弱	5.50未満 5.00以上
避難場所	● 避難場所
主要道路	— 国道・県道(主要地方道) — 町道 — 圏央道

想定地震
「長柄町直下の地震」は相模湾から南関東の地下に沈み込むフィリピン海プレートの上面を震源とするもので、地震の規模を表すマグニチュードを6.9としています。
予想される地震の強さ(震度)は、町全域で震度5強から6強となり、長柄町に大きな被害を与える可能性があります。

長柄町事業課
平成22年3月作成

震度階級のみかた

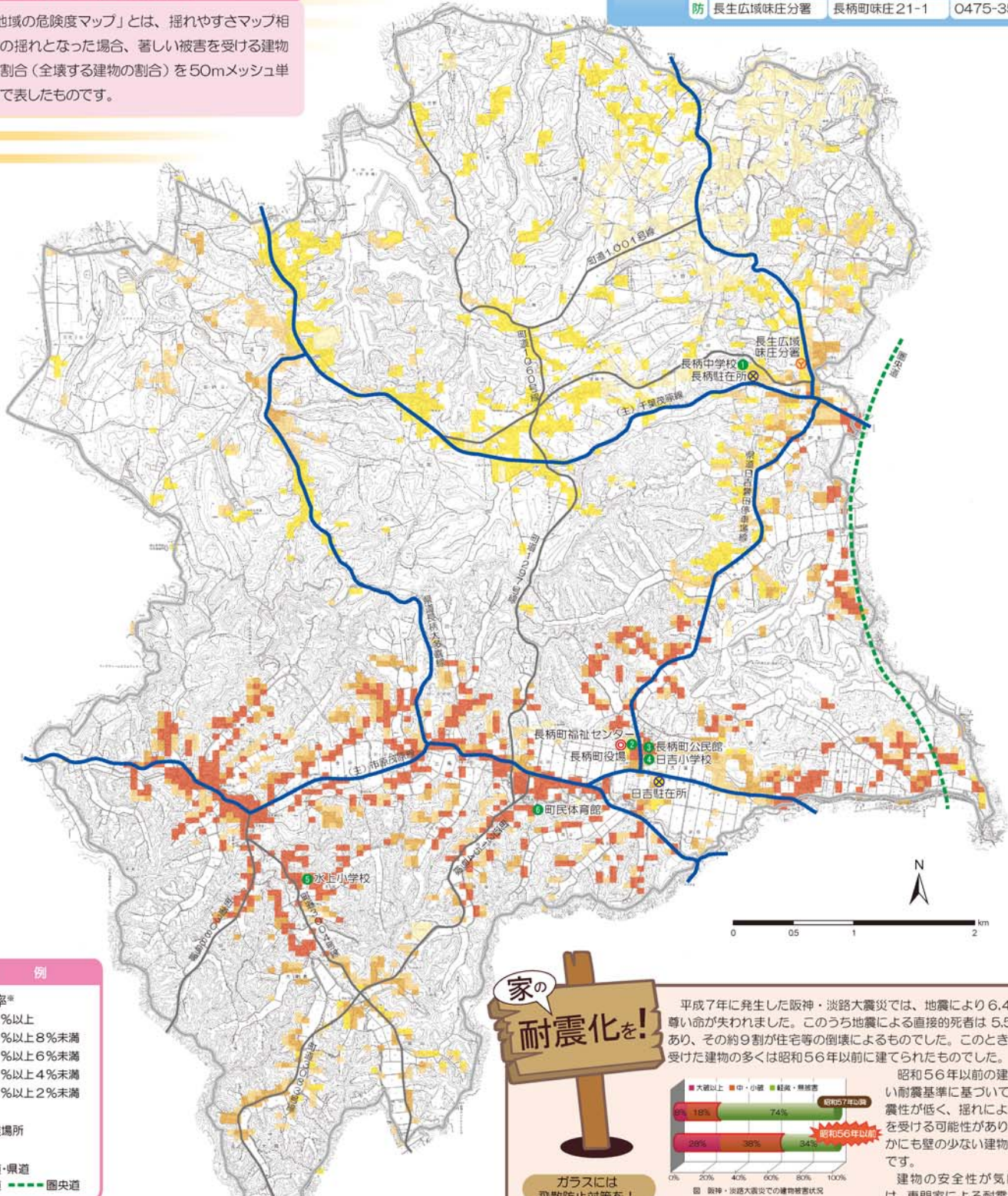
地震階級	人間の感覚	建物内の状況
6強	●立っていることができず、はわないと動くことができない。 ●揺れにほんろうされ動くこともできず、飛ばされることもある。	●固定している家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
6弱	●立っていることが困難になる。	●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。
5強	●大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	●棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。 ●テレビ台から落ちることがある。 ●固定していない家具が倒れることがある。

地震ハザードマップ

長柄町

地域の危険度マップ

「地域の危険度マップ」とは、揺れやすさマップ相当の揺れとなった場合、著しい被害を受ける建物の割合(全壊する建物の割合)を50mメッシュ単位で表したものです。



凡例	
建物全壊率*	8%以上 6%以上8%未満 4%以上6%未満 2%以上4%未満 0%以上2%未満
避難場所	● 避難場所
主要道路	— 国道・県道 — 町道 — 圏央道

全壊とは、継続して住むことが困難な程度に建物が破壊された状態をいいます。
全壊率10% (10棟のうち1棟が全壊した場合)

長柄町事業課
0475-35-2114

番号	名称	所在地	電話番号
1	長柄中学校	長柄町山根1500	0475-35-3104
2	長柄町福祉センター	長柄町桜谷712	0475-30-7200
3	長柄町公民館	長柄町桜谷690	0475-35-3242
4	日吉小学校	長柄町長富101	0475-35-2507
5	水上小学校	長柄町大津倉220	0475-35-2509
6	町民体育館	長柄町鶴谷837	-

関係機関	所在地	電話番号
警察	茂原警察署	茂原市早野新田7 0475-22-0110
消防	長柄駐在所	長柄町山根1461-7 0475-35-3106
	日吉駐在所	長柄町長富116 0475-35-3100
消防	長生広域消防本部	茂原市茂原598 0475-24-0119
	長生広域味庄分署	長柄町味庄21-1 0475-35-2441

オフィスで

- 机上のOA機器の落下に注意し、すばやく机の下にもぐりこむ。
- 外へ逃げるときは落下物に注意する。

車の運転中に

- ハンドルをしっかりと握り、少しずつスピードを落とし道路の左側に止めエンジンを切る。
- 揺れが収まるまで車外に出ず、ラジオで地震情報を確認する。
- 車から離れるときは、キーはつけたままで、ドアロックはしない。

学校で

- 急いで教室から飛び出さないで、まずは机の下にもぐり、頭を保護する。
- 地震のゆれが収まってからは教員の指示に従う。

屋外で

- ブロック塀や石垣、電柱からすぐに離れる。
- ガラスの破片、看板などの落下物に注意し、持ち物で頭を保護する。

家で

- 身の安全を確保する。
- 足を踏んで怪我をしない。
- 窓や玄関の扉を閉め、脱出口を確認する。
- 避難の際は階段を使う。

エレベーターの中で

- すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる。
- 停電などで、ドアが開かなくなったら非常ボタンを押し指示待ち。

家の耐震化を!

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地震により6,434人の尊い命が失われました。このうち地震による直接的死者は5,502人であり、その約9割が住宅等の倒壊によるものでした。このときに被害を受けた建物の多くは昭和56年以前に建てられたものでした。

昭和56年以前の建物は、古い耐震基準に基づいており、耐震性が低く、揺れによって被害を受ける可能性があります。ほかにも壁の少ない建物も要注意です。

建物の安全性が気になる方は、専門家による耐震診断を受けましょう。

ガラスには
飛散防止対策を!

戸棚のガラスや窓ガラスには飛散防止フィルムを張ります。

家具は金具で固定しましょう!

家具は、転倒防止のためL字金具で壁に固定するか、天井との間に支柱を入れて固定します。また、観音開きの扉の食器棚等には、開放防止金具を取り付けます。

落下危険のあるものは棚の上に置かない!

揺れやすいものや重たいものを棚の上に置かないようにしましょう。